

モノと情報をひも付ける「タギング」で サーキュラーエコノミー実現に向けた課題解決

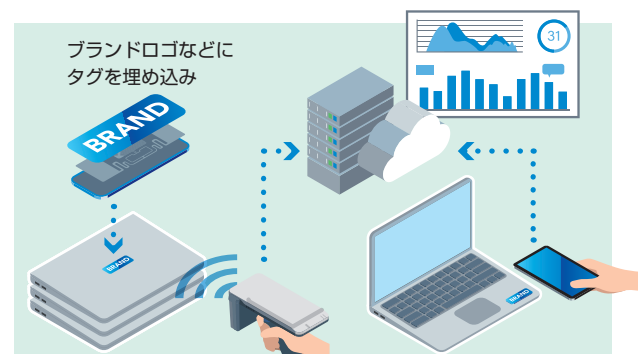
メーカーは環境配慮と社会的責任を果たすため、製品の原材料から製造・流通までの全過程を透明かつ効率的に管理する必要があります。サトーは自動認識技術を活用し、廃棄物に情報をひも付け(タギング)、SDGsやデジタル製品パスポート、バッテリー規則、ELV 指令など欧州規制へ対応し、サーキュラーエコノミーの実現に向けた課題解決を支援します。



製造・流通

デジタル製品パスポートで 製品ライフサイクルを把握

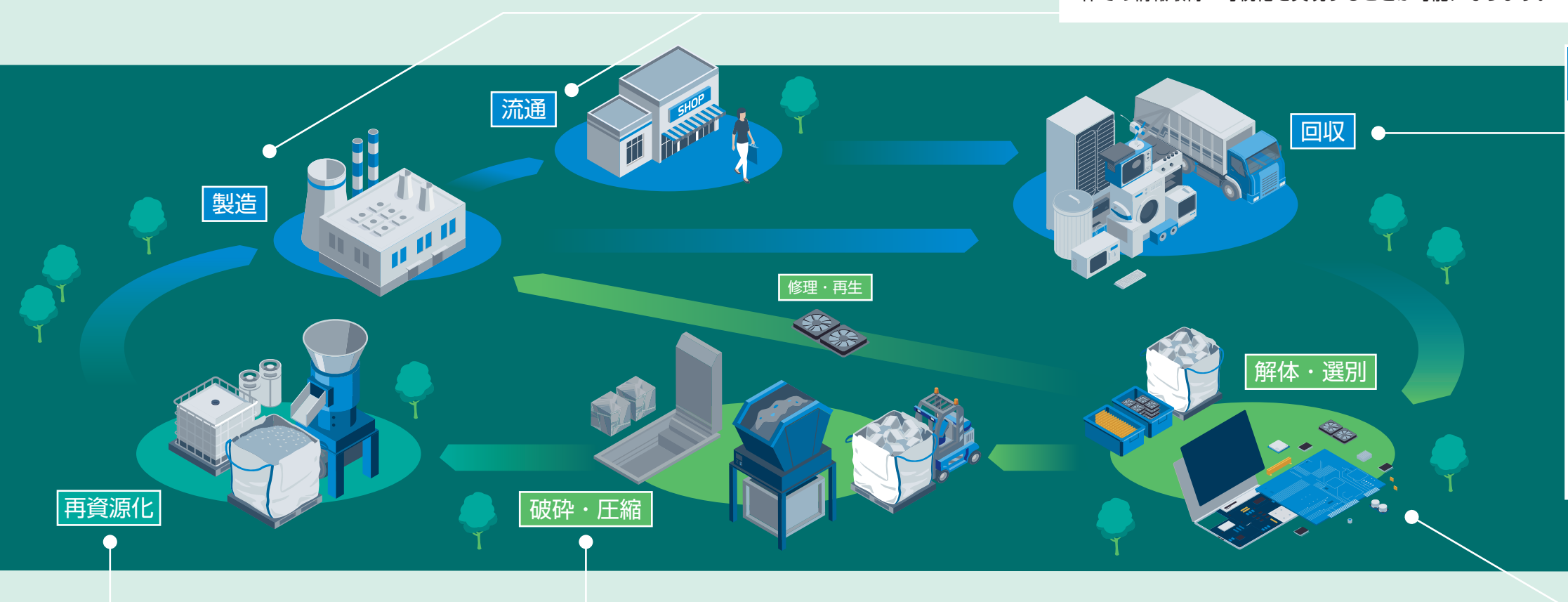
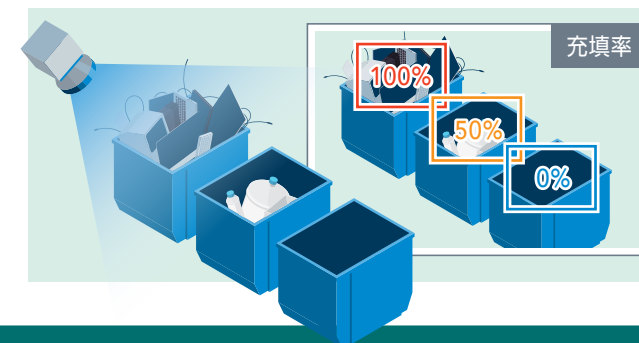
製品に RFID デュアルタグ (UHF / NFC) を組み込むことで、流通過程での入出荷や棚卸に使用できるほか、消費者が購入した際の製品情報確認、回収時の確認など製品ライフサイクル全体での情報取得・可視化を実現することが可能になります。



回収

廃棄物／危険物の所要量管理

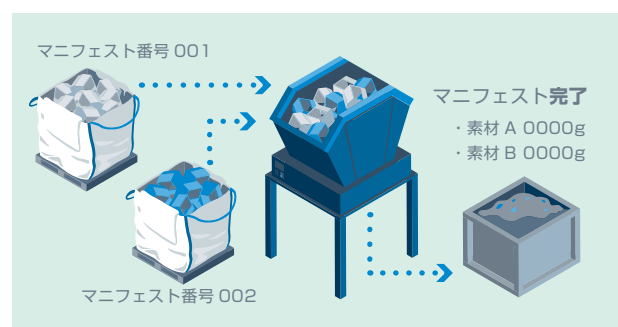
画像認識と AI、各種センサーなどを使用して廃棄物置き場に蓄積される量を予測。廃棄タイミングを処理業者に通知し事業計画・生産管理に役立てることができます。



破碎・圧縮・再資源化

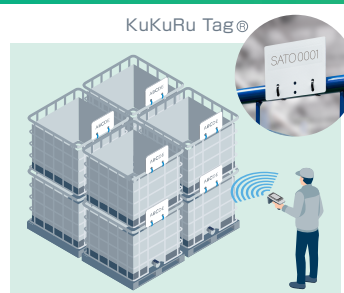
トレーサビリティ

処理における現場の一次データを関連付けることで、品質を担保します。マニフェストの順守、温室効果ガス (GHG) 排出量の把握をはじめとした、非財務データの活用に貢献します。



コンテナ管理

RFID によりコンテナの現在地を確認でき、紛失を防止。短時間で棚卸しができるため、頻度を増やし、より正確な管理も可能となります。



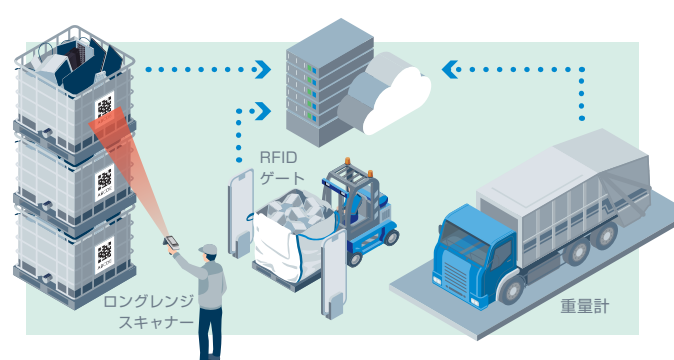
仕掛け品ロケーション管理

位置測位技術や RFID により、なにが、いつ、どこにあるのかを把握できます。適切かつ効率的なロケーション管理を実現します。



入出荷作業効率化

入出荷時、重量計と連動させることで重量の入力作業を自動化。また、RFID ゲートによる読み取りの自動化、ロングレンジスキャナーの活用による高所の読み取りなど、効率的かつ安全性の高い作業が可能になります。



解体・選別

実績収集・可視化

重量計やタブレットを使用して実績データを登録し、解体した各部品の数値をペーパーレスで可視化。マニフェスト発行の効率化や製品のトレース管理へ繋がります。

